

# 木下まち育て塾の さらなる活性化を目指して

2013年12月7日定例会  
副会長 松本敏浩

第一土曜日の定例開館中の午後2時から、

吉岡まちかど博物館2階にて、

公開自主調査研究活動を実施する。

**上記の為、蔵2階での使用許可(承認)を求めます。**

非公式には、前回11月2日から開始しております。  
また、都合により第三日曜日午後2時からに変更の可能性があります。

## いま、木下まち育て塾の現状は、

活動塾生の固定化  
来館者数の低迷  
探せばいろいろ・・・

## そこで、

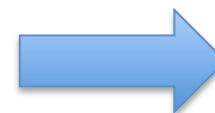
目的1: 来館者を増やす  
2: 塾生を増やす

目標1: 来館者を倍増させる  
開館毎に5人を基準として月20人(10人×2回)に増やす  
(寺子屋聴講生をのぞく)  
2: 塾生を○人増やす

まち塾の活性化に必要なのは人 である。  
人が増えて活動が活性化し調査研究・活動の成果が増えれば、  
来館者が増え、資金調達も進み始める。

この公開歴史調査研究をすることで、

目指す成果(物)



その結果...

展示物(揭示物)を毎月更新できる



リピーターの獲得

一緒に { 調査研究してくれる  
何をどうしているか見に来る }

人が来るかもしれない



新塾生の獲得

人が集まらなくても、この公開自主調査研究により毎月の展示物の追加・更新できるかもしれないし、  
**すくなくとも、揭示物を増やすことは出来る！**  
リピーターにも飽きさせないですむ かな？ とイイな。笑

具体的には何を調査研究する？

# 調査研究内容:木下河岸前史

副題(目標):元禄2年河岸吟味の木下河岸の景観復元

## 調査項目等

1590年の(自然的・歴史的)景観	東国戦記の読み込み	
利根川東遷事業	河岸の機能・目的・構造等	教科書的調査...
手賀沼干拓計画	自然科学的アプローチ	3DCG化
	連続堤形成過程の解明	
	調査研究小旅行	
問屋旧記の現代語訳化		

ほかにも、企画展示等の更なる調査、  
ひな祭り展示の準備(別添予定)  
常設展示資料解説マニュアルの作成  
スマホ等による展示解説システムの作成  
塾生が増えれば、  
滝田まちかど博物館の調査研究  
などなど始める。